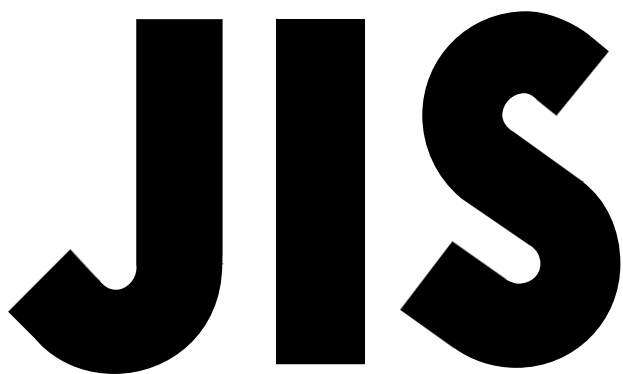




圧力用溶接鋼管－技術的受渡条件－ 第 1 部：室温用炭素鋼管（ISO 仕様）

JIS G 7223 : 2003
(ISO 9330-1 : 1990)
(2008 確認)

平成 15 年 7 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木 原 諄 二	日本大学
(委員)	大河内 春 乃	東京理科大学
	大 橋 守	新日本製鐵株式会社
	岡 實	財団法人日本海事協会
	小 澤 宏 一	日本鋼管株式会社
	加 藤 碩	ステンレス協会
	國 府 勝 郎	東京都立大学
	佐久間 健 人	東京大学
	三 宮 好 史	社団法人日本鉄鋼連盟
	中 島 將 文	社団法人日本鉄道施設協会
	長 瀬 忍	高圧ガス保安協会
	福 永 規	住友金属工業株式会社
	松 田 邦 男	川崎製鉄株式会社
	村 上 陽 一	社団法人日本電機工業会
	山 内 学	株式会社神戸製鋼所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 15.7.20

官 報 公 示：平成 15.7.22

原案作成協力者：社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3 丁目 2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4811)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長代理 二瓶 好正)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 木原 諄二)

この規格についての意見又は質問は、経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 E-mail:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 9330-1:1990**, Welded steel tubes for pressure purposes—Technical delivery conditions—Part 1:Unalloyed steel tubes with specified room temperature properties を基礎として用いた。

JIS G 7223 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (参考) 高温耐力

圧力用溶接鋼管の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS G 7223 : 室温用炭素鋼管

JIS G 7224 : 高温用電気抵抗溶接炭素鋼管及び合金鋼管

JIS G 7225 : 低温用電気抵抗溶接炭素鋼管及び合金鋼管

JIS G 7226 : 長手溶接オーステナイトステンレス鋼管

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 記号及び名称	2
3.1 基本の記号	2
3.2 許容差の記号	2
3.3 試験の記号	2
4. 注文者によって提示される情報	3
4.1 必ず (須) 情報	3
4.2 選択	3
4.3 注文例	3
5. 製造工程	3
5.1 製鋼方法	3
5.2 脱酸方法	3
5.3 製管方法	3
5.4 熱処理及び受渡条件	4
6. や (冶) 金特性	5
6.1 化学成分	5
6.2 機械的性質	6
6.3 溶接性	6
7. 寸法, 質量及び許容差	6
7.1 外径, 厚さ及び質量	6
7.2 長さ	6
7.3 許容差	7
8. 外観及び健全性	7
8.1 外観	7
8.2 管端	8
9. 検査及び試験	8
9.1 検査及び試験の検査文書	8
9.2 化学成分分析	8
9.3 機械試験及び実用試験	9
9.4 漏れ試験	10
9.5 寸法検査	10
9.6 外観検査	10
9.7 溶接部の非破壊試験	10

9.8 試験方法及び結果	10
9.9 試験の無効	12
9.10 再試験	12
9.11 選別又は再処理	12
10. 表示	12
10.1 適用する表示	12
10.2 特別表示	12
11. 保護	12
12. 検査文書	12
13. 受渡し後の苦情	12
附属書 A (参考) 高温耐力	13
解 説	14

白 紙

圧力用溶接鋼管—技術的受渡条件—

第 1 部：室温用炭素鋼管（ISO 仕様）

Welded steel tubes for pressure purposes—Technical delivery conditions— Part 1: Unalloyed steel tubes with specified room temperature properties (ISO specifications)

序文 この規格は、1990 年に第 1 版として発行された ISO 9330-1:1990, Welded steel tubes for pressure purposes—Technical delivery conditions—Part 1: Unalloyed steel tubes with specified room temperature properties を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、室温用炭素鋼から製造され、円形断面をもつ溶接管（以下、管という。）に関する技術的受渡条件について規定する。これらの管は、圧力下での流体の輸送を含む圧力下での使用を前提とする。

適用規格及び規定によっては、これらの管の使用を 350 °C まで許容する（**附属書 A** 参照）。

一般的な技術的受渡要求事項は、ISO 404 による。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 9330-1:1990, Welded steel tubes for pressure purposes—Technical delivery conditions—Part 1: Unalloyed steel tubes with specified room temperature properties (IDT)

参考 原文の“tube”と“pipe”とは、同義語とする。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年又は発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。

JIS Z 2241 : 1998 金属材料引張試験方法

備考 ISO 6892 : 1984, Metallic materials—Tensile testing が、この規格と一致している。

JIS Z 2248 : 1996 金属材料曲げ試験方法

備考 ISO 7438 : 1985, Metallic materials—Bend test が、この規格と一致している。

ISO 377 : 1985, Wrought steel—Selection and preparation of samples and test pieces

ISO 404 : 1981, Steel and steel products—General technical delivery requirements

ISO 1106-3 : 1984, Recommended practice for radiographic examination of fusion welded joints—Part 3 :